

2024 年度インターネット基盤整備基金資産運用状況の報告

資産運用規程第 4 条の定めに従い、「2024 年度インターネット基盤整備基金資産運用状況報告」を行う。

1. 運用実績

(1)運用収入

(単位：収入百万円、為替円)	2023 年度実績	2024 年度予算	2024 年度実績
運用収入	28.0※	22.7	26.1
(期中平均 US\$/¥レート)	144.59	126	152.62

2024 年度償還債券：100 百万円、クーポン 1.13%

2024 年度投資債券：100 百万円、クーポン 1.93%

※クーポンの高かった債券が 2023 年度途中で期限前償還となった

2. 期末残高および評価損益（基盤整備基金として保有する銀行預金を含む）

(単位：百万円)	2024 年 3 月	2025 年 3 月	2024 年度評価損益
取得原価	1,248.7	1,248.7	－
期末時価評価額	1,319.4	1,300.3	▲19.1

(評価損益の内容)

①為替要因 ▲5.6 百万円

～¥/US\$レート 2024/3 末@151.40→2025/3 末@149.52、@1.88 円の円高

②価格要因 ▲13.5 百万円

・金利要因：米国金利は過去 1 年間で見ると若干の低下をみたが、日本の金利は大きく上昇したことより円建の債券価格が低下した⇒概算で価格への影響は▲15.3 百万円程度と想定される。

・信用リスク要因：価格要因全体から金利要因概算額を控除した+1.8 百万円程度が信用リスク要因と想定される。
(CDS プライスの変動を見ても直近 1 年間で信用リスクに関する市場のセンチメント等の変化は僅少)

3. 資産内訳

(単位：百万円)		2024 年 3 月		2025 年 3 月	
		残高	%	残高	%
債券	外貨建	445.4	33.8	444.4	34.1
	円建	595.0	45.1	576.9	44.4
現金預金		279.0	21.1	279.0	21.5
資産計		1,319.4	100.0	1,300.3	100.0

2025/3 末債券残高 1,021.3 百万円については、各銘柄の、リスク・パーティーの格付は全て資産運用規程の基準を充足しており、保有債券の信用リスクに現時点では著変無し（報告事項 3 説明補足 1）。

外貨建債券比率は 25%を目安としている中で、足元の円安の影響もあり、その比率は高止まっている。

以上